



通信

— 創刊号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・
ポスター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部
支部長決まる！！

たかあき

かつまた 孝明氏

の「決意」

～ “新生” 自民党 発進！ ～

はじめまして！

たかあき

かつまた 孝明 です！

昭和51年4月7日生まれ（35歳）



出身 沼津市

住所 沼津市花園町

家族 父親（沼津市出身）

母親（伊豆市出身：修善寺）

妻・長男・長女

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園

沼津市立門池小・門池中 卒業

静岡県立沼津東高校 卒業

学習院大学経済学部 卒業

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業

（経営学修士：MBA取得）



〔石原幹事長と〕

〔職歴〕

平成12年4月

スルガ銀行株式会社入社
清水支店

財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）

経営企画部 人事担当マネージャー

平成22年12月

スルガ銀行株式会社退職

平成23年1月

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長

志の原点はふるさと再生！日本再生！

私が政治を志した理由を創刊号から順次述べさせていただきます。

ふるさとに活気と誇りを取り戻すために

静岡 6 区は沼津・駿東・伊豆が地盤となっております。この 6 区の現状を見るとまさに「日本の縮図」と言えることがわかります。沼津は、東部の中心都市として古くから多くの買い物客でにぎわっていました。いまや、中心市街地はご多分に漏れず、シャッターが目立ち、その一時期と比べても通行客は格段に減っています。活気がありません。伊豆はどうでしょう。観光客は減り、少子高齢化が進む中で、疲弊してしまっています。こうした静岡 6 区を取り巻く環境は、まさに日本全国の地域で同じことが起こっていて、同様の悩みを抱えているのです。

だからといって、この地域の人たちが何もしていないわけではありません。地方議員をはじめ、NPOや地域行政、商店街や各種団体、一生懸命に自分たちのふるさとを良くしようとがんばっています。

銀行での経験を政策に活かす

私自身も 11 年前に、自分の生まれ育ったふるさと沼津、そして伊豆を「金融を通じて活力のある地域にしたい」との熱い思いを持って地元の銀行に就職しました。

この11年間に様々な企業や人々を通じてこの地域の経済や産業の実態を知る中で、一人一人が本当に努力している反面、本当に地域が疲弊してきていることを肌身で感じてきました。

私は、この地域の人々の「声」を通り越した「悲鳴」が本当に国に届いているのかという憤りを感じています。

地方分権改革の進んでいない今、いったい誰が国に私たちの声を届けてくれるのでしょうか。国会議員は、外交と防衛といった国の仕事さえしていればいい。それは理想かもしれませんが。地方分権が確立した国であるならば、それでいいでしょう。しかしながら、地方分権改革は一向に進まない、声を届ける人もいない。私たちはいったいどうすればよいのでしょうか。

地域にこだわり、日本の「再生モデル地域」へ

私は、この地域は日本の「再生モデル地域」にしたいと考えています。地域が良くならなければ、日本の再生はありません。この日本の縮図である静岡6区が元気を取り戻せば、日本の再生モデルになるでしょう。

私は、11年間の銀行経験を活かし、地方分権改革を確実に前進させ、地域のことは地域で決めることのできる社会が実現するよう、国の仕組みを変えていきたいと考えております。

これが、私が政治を志した理由の一つです。

～次号へ続く～